今月の花

スズラン
（玄関アプローチ）

さくら新聞

～笑顔de共育て～

令和３年４月３０日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町７－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

月の主題
一緒に遊ぼう
今月の保育のねらい
自然に親しみ、戸外で元気に遊ぶ

遊んで、遊んで、遊びました

これは世界中の子どもたちから愛されている「長くつ下のピッピ」の作者である、アストリッド・リンドグレーンさんはまたこういうことも言っています。

「子どもの時、本当に毎日遊んで、遊んで、これでもかというほど遊びました。今になって考えると、よく遊び死にしなかったものだと思うほど遊んだのです。」

遊び死にとはなんとすごい言葉でしょう。大人になってからの遊び死にって、お酒を飲みすぎて体を壊して死ぬくらいのイメージしかありませんし、「死ぬほど遊びたい」というような思いも大人になったらなくなってしまいます。

今、子どもたちは毎日保育園で「遊んで、遊んで」楽しい日々を過ごしています。あれだけ遊んでいても、大好きなお母さんやお父さんが迎えに来た時「もっと遊びたい！」モードの子どもたちがたくさんいます。

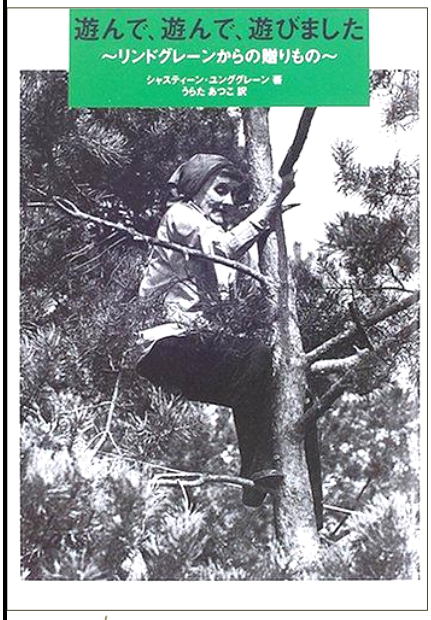
子どもにとって、毎日かなりの長時間、他人の集団の中で過ごすということは、かなりのストレスを感じることだと思います。しかし、生活の大半の時間を一緒に過ごしている友だちや大人との安心できる関係や、保育園以外では出会うことがないような数々のすてきなおもちゃや絵本の環境が、子どもたちの「遊び心」に働きかけ、「遊んで、遊んで、遊びました」という一日につながっていくのだと思います。

子どもたちは毎日の遊びの中で楽しいことを見つけたり、夢中になったり、上手になりたくて一生懸命練習したり、失敗したり、けんかすることもあるけれど、やった！という達成感を友だちと一緒に喜んだりしながら、人生の中で二度と戻ることができない大切な時間を過ごしています。

私たち大人はそんな子どもたちを見守りながら、実は子どもたちから多くのことを学んでいます。純粋に自分が生きていくことに真剣なこの子どもたちが大人になって社会に出ていくとき、自分だけが良ければいいというのではなく、みんなが幸せであることに喜びを感じて、少しでも社会を良くする気持ちを持っていてくれるには、何よりその子ども自身が「幸せな子ども時代」を過ごすことだと思います。

そのためにも、子どもが幸せだと感じるほど、家庭でも、保育園でも「遊んで、遊んで、遊びました」という日々を過ごせるようにしてあげるのが私たち大人の務めだと考えています。

文責　樋口正春



５月　行事予定

日	曜日	内　容
6	木	身体計測（乳児）
7	金	身体計測（幼児）
11	火	連絡メールテスト配信
12	水	避難訓練
13	木	全園児健康診断 アートくらぶ（5歳児クラス）
19	水	水害訓練
20	木	アートくらぶ（4歳児クラス）
25	火	おはなし会
27	木	アートくらぶ（4歳児クラス）

※13日：ニコニコフォト撮影予定日
※絵本貸出を幼児クラスで再開します
　詳細は、別紙おたよりがでます。

練馬区保育園連絡メールテスト配信　ご協力のお願い

新入園児の保護者の皆様、保育園の緊急情報を保護者にお伝えするための**『練馬区保育園連絡メール』**の登録はお済みですか。兄弟関係がいらっしゃる場合も、それぞれのクラスでの登録が必要です。

稼働確認のテスト配信を　**５月11日(火)**　に実施します。
コロナ禍、大事なお知らせが、連絡メールにて配信されることも予想されます。
ぜひ、テスト配信にご協力ください。
なお、既読確認のために、本文中の

URLのタップにも、ご協力ください。